

長岡市・関係団体共同記者発表要旨

日 時：令和2年7月21日（火）午後2時から

会 場：アオーレ長岡 市民交流ホールBC

【発表項目：長岡米百俵フェス ～花火と食と音楽と～ 2020 共同記者発表】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

米百俵フェス有限責任事業組合 総合プロデューサー 北牧 裕幸

(株式会社キューブ 代表取締役社長)

長岡商工会議所 会頭 丸山 智

一般財団法人長岡花火財団 理事長 高見 真二

NPO法人ネットワーク・フェニックス 代表理事 土田 勝也

一般社団法人長岡青年会議所 理事長 今泉 知久

(司会)

「長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2020」は、長岡市と米百俵フェス有限責任事業組合が、次の100年へ「新しい米百俵」を掲げ事業協定を締結し、未来を担う子どもたちの価値ある体験の提供や、ふるさと長岡への愛着の醸成への寄与、広く国内において発信し得る新たなイベントの実施による長岡の認知度向上と新たなファンの獲得や、地域経済の活性化を目指し、開催します。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大が続く現在の状況に鑑み、しっかりとした感染症対策を行い、来場者が安全安心に楽しめる環境のもと実施します。

それでは初めに、長岡市長・磯田達伸が、ご挨拶申し上げます。

(長岡市長)

米百俵フェスは、長岡出身である株式会社キューブの北牧社長から、一昨年、未来への投資として長岡大花火大会に並ぶ大きなイベントに育てたいということで、第1回を開催しました。昨年は台風で中止になりましたので、今年で2回目の実施となります。先日、ここにいる関係者をはじめ、長岡の各界各層の方々からお集まりいただき、実行委員会を開催いたしました。その中で皆さまから、感染防止対策をしっかりやりながら、通常の形ではなくてもイベントを実施してもらいたいということと、地元経済や新潟県内の経済活性化を図り、長岡から新しい生活様式に合わせたイベントの開催手法を発信してもらいたいという意見をたくさんいただきました。新型コロナウイルス感染拡大の防止と社会経済活動の両立が求められている中で、安全安心をどのように作っていくかが、今年の米百俵

フェスのテーマだと考えています。開催にあたっては市民の安全はもとより、来場者の感染防止対策を最優先に進めながら、オール長岡で受け入れ体制を整えて、長岡から新しい生活様式に合わせたイベントの開催手法を全国に向けて発信していきたいと考えています。長岡市としても、全面的に協力し、関係者の皆さまと力を合わせて、成功に向けて頑張っまいます。

なお、現在、国が検討しているGo Toトラベルキャンペーンや、8月1日からの大規模イベント開催制限の緩和の動きをしっかりととらえながら対応したいと思っています。

(司会)

続きまして、主催者であります米百俵フェス有限責任事業組合総合プロデューサー・北牧裕幸から事業内容および新型コロナウイルス感染症の予防対策をご説明させていただきます。

(北牧総合プロデューサー)

本日、私は東京から来るにあたり抗体検査を行い、陰性でしたので無事に来ることができました。最初に申し上げたいことは、この記者発表は、米百俵フェスを強行するというものではありません。10月10日、11日に米百俵フェスを開催できるように、ここから準備を進めていくということを、皆さまにご承知おきいただくための記者発表だご理解ください。国内外では、大型のフェスなどは中止になっていますが、新型コロナウイルス感染予防に最大限留意しながら、開催できる可能性にかけて、ここから準備を進めていくという、決意表明の記者発表だと私は認識しています。

開催概要について説明いたします。昨年は台風第19号の影響で、前日に中止を判断しました。この直後から出演予定のアーティストの皆さまから、ぜひ来年も出たいというお言葉を多数いただき、約8割の方はそのまま出演いただくことになりました。また今年も、さだまさしさん、NHK連続テレビ小説「スカーレット」で人気を博した松下洸平さん、司会にファーストサマーウイカさんなど、新たなメンバーも加わります。

そのほかのキッズエリア、フードエリア、キャンプエリアや、駐車場、シャトルバス運行などに関しては、ほぼ昨年の準備を踏襲したいと考えています。

今年最大のポイントである新型コロナウイルス対策は、観客を新潟県民限定とすることと、1日当たりのチケット販売を5,000枚限定にすることを考えています。これは、現在の首都圏の新型コロナウイルス感染者の激増を踏まえ、都道府県をまたいでフェスへの参加は感染拡大の不安があり、長岡市民、新潟県民に安心してご参加いただける環境をつくれなと考え、新潟県民限定で開催することにいたしました。また、会場内は大変広く、数万人が入れる規模ではありますが、なるべくソーシャルディスタンスを保ち、三密を回避するため、1日のチケット販売を5,000枚限定にいたしました。

それ以外にも、観覧エリアでの三密防止として、スタンディングゾーンとシートゾーンを分け、スタンディングゾーンではフェイスシールドの着用の徹底、シートゾーンでは、飲食時以外はマスク着用の徹底をお願いします。シャトルバス、フードエリア、キッズエリアに関しても、ソーシャルディ

スタンスの確保のために、予約制にして混雑しないよう考えていきたいと思っています。入退場については、サーモグラフィーなどによる検温や規制退場なども考えています。会場内には看護師に常駐いただき、体調の変化があった方は即時に隔離をして、看護師や医師の診察を受けられる体制をとりたいたいと思っています。このように、考え得る最大級の感染予防対策を米百俵フェスで実現していきたいと考えています。

このフェスは、長岡の未来、子どもたちの未来への投資という意味で米百俵フェスという名前をつけ、始めさせていただきました。この困難な時代にこそ、新しい生活様式にあった長岡スタイルの野外フェスの提唱を行い、そこで地元子どもたちが夢を抱き、地域の活性化につながるという未来へ投資する勇気こそが、米百俵という精神の継承ではないかと考えて、このチャレンジを成功させたいと思っています。

なお、この先に、新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波が起こるような事態に陥れば、迷わず、中止を市と相談のうえ決定させていただきたいと思っています。

今後の日程について、8月1日から一般チケットの発売、8月15日から市民限定割引チケットを発売いたします。

(司会)

では続いて、ご登壇の皆さまからそれぞれコメントをいただきます。

初めに一般財団法人長岡花火財団理事長・高見真二様、お願いします。

(高見理事長)

長岡花火財団といたしましては、今年の大花火大会を苦渋の判断のもとに中止していますので、長岡花火を打ち上げる予定はありません。そうした中で米百俵フェスの花火については、主催者のご依頼を踏まえて、このイベントが長岡の大きなイベントに育っていくために、ふさわしい花火を相談して打ち上げさせていただきたいと思っています。市民の皆さまの安全を第一にしながら、対応していきたいと思っております。

(司会)

続いて、NPO法人ネットワーク・フェニックス代表理事・土田勝也様、お願いします。

(土田代表理事)

飲食おもてなしブースを担当します。飲食ブースにおいてもしっかりとソーシャルディスタンスを確保し、混雑を回避するために、スマートフォンのメニューから注文して、でき上がったら通知が行くというアプリを開発中です。これにより、行列を作らないイベントでの飲食の確立を目指しています。これが完成することで、米百俵フェスだけではなく、その後の飲食を伴うイベントにも展開できると考えています。

ごみについては各自で持ち帰るか、ごみバケットに直接投入する対策を取りたいと思っています。

(司会)

続いて、一般社団法人長岡青年会議所理事長・今泉知久様、お願いします。

(今泉理事長)

主にキッズパークを担当します。感染症対策をしたうえで、新たなイベントの開催方法を模索するという挑戦を長岡青年会議所は全力で支援していきたいと考えています。新潟県民の皆さまが安心してお子さまを連れて遊んでいただけるように、安全な会場設営を精一杯作り上げていきたいと考えています。

(司会)

最後に地元経済界を代表して、長岡商工会議所会頭・丸山智様、お願いします。

(丸山会頭)

米百俵フェスは未来のために行うものです。長岡市が栄えるのも衰えるのも、米百俵フェスにあるというつもりで、全力でやりましょう。

(司会)

それでは、質疑応答に入ります。

(記者)

米百俵フェスは5年間の開催を目標にしていますが、昨年の中止を受けてあと何回、開催する予定ですか。

(長岡市長)

今年が2回目となりますので、今回を含めて4回の開催を考えています。

(記者)

昨年までスペシャルナビゲーターとして参加していた山下穂尊さんについて、今年の参加予定を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

引き続き、スペシャルナビゲーターとして参加いただき、テーマソングには「輝き」を使わせていただきます。昨年予定していた浦瀬・桂両小学校の児童たちによる歌唱もテーマソングとして使わせていただく予定です。

(記者)

米百俵フェスは、G o T oキャンペーンの対象になりますか。

(北牧総合プロデューサー)

具体的な制度内容が発表されていないため、現時点では未定です。

(記者)

ライブ会場について、スタンディングエリアで1メートルの間隔を、シートエリアで2メートルの間隔をとることになっていますが、これらは固定席ですか。

(北牧総合プロデューサー)

固定席ではありません。マーキングなどで、身体的距離を徹底して取れるようにしたいと思っています。

(記者)

長岡まつり大花火大会は中止になりましたが、米百俵フェスで打ち上げる花火は、長岡花火という位置づけですか。また打ち上げの規模について教えてください。

(高見理事長)

主催者と長岡花火財団で協議をして、共催で打ち上げる長岡花火です。

規模や企画については、これから協議します。新潟県民限定ということと、今後発展していく米百俵フェスを何とか今年の形で実現したいという趣旨から、規模に関係なく花火を打ち上げることが重要だと思っています。

(記者)

出演されるアーティストについて、今回発表の17組と、今後の発表で総勢何組になる予定ですか。

(北牧総合プロデューサー)

昨年と同じく21、22組くらいになる予定です。

(記者)

新型コロナウイルス感染症の影響で中止する場合の、具体的な判断基準を教えてください。

(長岡市長)

緊急事態宣言や移動制限、ガイドラインなど、国・県の対応を尊重して判断します。また、長岡市としても、市民の皆さまの、あるいは観客の皆さまの安全を考えたとき、市独自の判断をすることもあり得ると思っています。

(記者)

入場者を新潟県内限定とすることで、収益性への影響をどのように考えていますか。

(北牧総合プロデューサー)

収益面は大変厳しいですが、米百俵フェスを長岡まつり大花火大会に並ぶイベントに育てていきたいという思いがあります。今年1年ということではなく、これから先の投資として考えています。

(記者)

チケット販売数を5,000枚とした基準は何でしょうか。

(北牧総合プロデューサー)

昨年の入場目標1日1万人の50%ということと、国のイベント開催のガイドラインに5,000人という目安がありましたので、それを基準に考えました。

(記者)

出演するアーティストの大半が首都圏などの都会から来ることを踏まえて、アーティストの感染症対策について教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

音楽団体の幹事者として、経済産業省、文化庁等と作成しているガイドラインにのっとり、感染予防対策や検査体制の充実を考えていきます。

(記者)

さまざまなフェスが中止になっている中で、市民などへ、米百俵フェスは十分な感染症対策をして開催することで問題ないと言えますか。

(長岡市長)

長岡市の現状では問題ないと思っていますが、東京などの状況は予断を許さないと思っていますので、状況に合わせて安全側に振った判断をしてみたいと思います。状況が悪化すれば中止という判断もあると思っています。

(記者)

新潟県民限定について、県内在住を証明する書類などは具体的に、何を想定していますか。

(北牧総合プロデューサー)

運転免許証など一般的に考えられる身分証明書を持参していただくことを考えています。そのほかに居住実態を示せるような郵送物の提示なども含めて、これから検討していきます。

また、まずはチケット購入時に、住所氏名、連絡先を記入するシステムを考えていますが、その後の入退場の際にもチェックをするかなども検討中です。

(記者)

特別な意味を持つ長岡大花火大会を苦渋の選択で中止したなかで、米百俵フェスで打ち上げることについて、市民へどのように説明するか教えてください。

(高見理事長)

長岡花火単独として打ち上げる花火ではなく、米百俵フェスの趣旨や、主催者の思いを尊重して、長岡花火財団としてできる範囲で協力したいと考えています。